

2015年度第3回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2015年8月3日（火） 午後6時30分から午後9時
- 2 場所：立川市柴崎学習館 第1教室（地下）（立川市柴崎町2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、平山恵三、堀渡、矢崎省三
欠席者：清田義昭、手嶋孝典

4 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2015年7月31日現在 正会員96名3団体 賛助会員41名1団体 計141名・団体
- ・6/4付 賛助会員再入会1名。資格喪失の手続き後も継続的な働きかけで、再入会してもらうことができた。

(2) 第2号議案 東京都市町村立図書館長協議会での研究説明について【報告】

- ・7月15日、東京都市町村立図書館長協議会（＝「館長会」）の定例会があり、多摩デポは、この間の研究成果を話すことを求められ、座間理事長、堀、（株）カーリル吉本代表が説明してきた。
- ・「館長会」は、共同利用図書館構想の再検討プロジェクト（担当；調布市、小池館長）が活動中であり、プロジェクトには求められ4月に説明している。「館長会」でも話すことを依頼された。
- ・共同研究については、その間に多摩デポ総会での発表や、カーリルは出版ニュースでの執筆もあり、説明がこなれてきて要点を話せたように思う。「ISBNのない図書の機械的な同定の可能性」や「各館での実際の除籍作業での使い方について」など適切な質問を幾つかいただいた。
- ・この研究をぜひ活用してもらえよう、「館長会」で検討してほしいこと、これにより即座に希少性の度合いがわかるようになるので再度「館長会」として保存ルールの確認が求められるのではないかと、保存書庫の問題としては建設中の新都立多摩図書館の書庫の使い方が議論されるべきではないか、などを伝えてきた。
- ・報告を受けた理事会の議論として、「館長会」の判断に期待したいが、どこも書庫が一杯の状況で、バーチャルだけでなくリアルな共同保存場所の確保があわせて必要という声も出た。

(3) 第3号議案 多摩デポ通信第35号について【報告】

- ・予定より遅れ気味であったが、8月1日付で、多摩デポ通信35号を発行し、送付した。
- ・カーリルとの共同研究の現状を「館長会」から説明を求められ、7月15日の定例会で説明してきた。そのことの報告記事。
- ・津野氏、黒子氏への今期の顧問依頼と、就任についての報告記事。
- ・堀越洋一郎氏による、総会後のカーリルの研究発表についての批評とアドバイスの論評。
- ・この間、求められて理事が執筆発表した論文の案内。
- ※8月下旬実施の方向で企画を進めていた、「多摩デポ講座」の「けやき出版会長清水氏による講演」（多摩で出版業を35年続けた経験を語る一仮題）が、講演者体調不良で延期となり、その関係記事やチラシを入れずに発行した。
- ※吉本龍司氏論文「ビッグデータで見えてくる多摩地域図書館」（『出版ニュース』7月上旬号掲載を、吉本氏と出版ニュース社の了解のもとに印刷し、同封した。総会後の発表の概要を文章と図にまとめたもので、7月15日の「館長会」説明の際にも各館長に配布したもの。
- ・共同研究の現状については丁寧に告知できたが、やや単調な紙面となった。

(4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・第2号議案に書いたように、「館長会」で現状を説明し、検討してもらっている。
- ・「館長会」のプロジェクトチームがこの間の検討と新たな提案について、まとめの報告書執筆に取り掛かっており、そこで扱われるのではないかと。
- ・共同研究の定例会では、各館での除籍・保存の判断の前提作業に使いやすいような、システムの提示の仕方を検討中。
- ・事務局ではカーリルから、試しに500件程度の調査結果を送ってもらい、全件を二人ずつ人力で統合検索し、カーリルの検索精度を検証中。結果を集め、8月17日(月)の定例会の議題とできるようにする予定でいる。
- ・多摩デポとカーリルの研究について、専門誌等から執筆依頼が幾つか続いている。

(5) 第5号議案 今年度の講座・講演会の企画について【協議】

- ・前回理事会で、事務局より再提案することになっていた、今年度の多摩デポ講座について、7月5日付MLで以下のような企画で行ないたいと提案、準備に着手していたが、8月予定の講座が都合で延期となった。

① 8月に、多摩で事業を続けている出版社の方に「地域で出版活動をする経験・意義について」語ってもらう。具体的には、けやき出版(立川市)の会長、清水定氏が第一候補。

→ 『多摩デポブックレット』にかかわっての思いや販売の実態なども前面に出してもいいのではないかと。講師については、けやき出版と相談の上、編集者等の候補も考慮に入れつつ決定し、9月実施の方向で準備を進める。

② 1~12月に、元総務大臣、片山善博氏を講師として、「図書館への期待、紙の本の意義、多摩デポの活動をどう思うか」の内容で、大きな講演会を実施する。

※片山氏はこの間、あちこちで図書館振興に関わる地域集会の講師に呼ばれて好評だが、多摩では一度も話されていない。学校図書館や読書の意義をお話しになることが多いが、多摩デポのことを事前に説明して、それについてもコメントしてもらえたい。

③ 年明けに、見学会。(見学先未定)

→ 東京農工大学図書館、旧お茶の水図書館、東書文庫等の案が出たが、多摩地域の大学であれば一橋大学経済研究所資料室が面白いのではないかと、との意見があり、打診を試みる。

(6) 情報交換

多摩デポ関係の執筆、記事について

【今後の予定】

- ・『情報の科学と技術』2015年9月号「コレクション構築の現在」特集に、公共図書館のコレクション構築の現在について論文執筆依頼あり、堀理事執筆。現在校正中。
- ・同誌10月号には、共同研究で分かってきたことについて、(株)カーリルの吉本氏に執筆の依頼あり。
- ・『読売新聞』多摩版コラム「たま手箱」
 - ・地域版の不定期連載コラムの執筆者として「多摩デポ」に加わってもらえないかと打診あり。事務局の何人かでテスト版を執筆中。

★ 次回の理事会 10月13日(火) 午後6時半 柴崎学習館予定

☆ 次回の事務局会議 8月 日() 午後6時半

★ 共同研究定例会 8月17日(月) 午後7時 調布市たづくり3階 304号室

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事と矢崎省三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2015年8月3日

議 長

議事録署名人

議事録署名人